

記念 論文集

現代行政法の構造と展開 -- 小早川光郎先生古稀記念

宇賀克也(東京大学教授)・
交告尚史(東京大学教授)／編

A 5判上製箱入, 950 ページ
定価 22,680 円(本体 21,000 円) ISBN 978-4-641-22701-9

行政法の研究・教育に邁進してこられた小早川光郎教授の古稀を記念して、
薫陶を受けた研究者・実務家が寄稿した、珠玉の論攷 43 篇。



行政法理論の探究 -- 芝池義一先生古稀記念

曾和俊文(関西学院大学教授)・野呂 充(大阪大学教授)・
北村和生(立命館大学教授)・前田雅子(関西学院大学教授)・
深澤龍一郎(九州大学教授)／編

A 5判上製箱入, 612 ページ
定価 14,040 円(本体 13,000 円) ISBN 978-4-641-13182-8

行政法上の諸問題のうち、重要ではありながら従来からあまり理論的な検討が行われてこなかったものが
少なからず存在する。
本書ではそれらの諸問題を明らかにし、より深い考察・検討を行い、理論上の欠缺を埋める。



企業法の進路 -- 江頭憲治郎先生古稀記念

黒沼悦郎(早稲田大学教授)・藤田友敬(東京大学教授)／編

A 5判上製箱入, 1074 ページ
定価 24,840 円(本体 23,000 円) ISBN 978-4-641-13757-8

学界の第一線を歩んでこられた江頭憲治郎先生の古稀を祝し、薫陶を受けた研究者 37 名が寄稿。
最先端の研究が集結した珠玉の論文集。



民事手続の現代的使命 -- 伊藤眞先生古稀祝賀論文集

高橋宏志(中央大学教授)・上原敏夫(明治大学教授)・
加藤新太郎(東京高等裁判所判事)・林 道晴(最高裁判所首席調査官)・
金子宏直(東京工業大学准教授)・水元宏典(一橋大学教授)・
垣内秀介(東京大学教授)／編

A 5判上製箱入, 1482 ページ
定価 30,240 円(本体 28,000 円) ISBN 978-4-641-13686-1

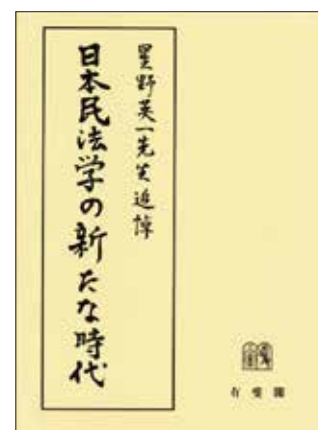


日本民法学の新たな時代 -- 星野英一先生追悼

高 翔龍(成均館大学名誉教授)・野村豊弘(学習院大学名誉教授)・
加藤雅信(名古屋学院大学教授・弁護士)・廣瀬久和(青山学院大学教授)・
瀬川信久(早稲田大学教授)・中田裕康(東京大学教授)・
河上正二(東京大学教授)・内田 貴(東京大学名誉教授)・
大村敦志(東京大学教授)／編

A 5判上製箱入, 1076 ページ
定価 23,760 円(本体 22,000 円) ISBN 978-4-641-13718-9

2012年9月に逝去された星野英一先生に捧げる論文集。
120年ぶりの大規模改正を目前に控えたいま、
星野先生の薫陶を受けた研究者が、民法学の新たな時代を切り拓く。





注釈日本国憲法 (2) -- 10条-24条

長谷部恭男 (早稲田大学教授) / 編
川岸令和 (早稲田大学教授),
駒村圭吾 (慶應義塾大学教授),
阪口正二郎 (一橋大学教授),
穴戸常寿 (東京大学教授),
土井真一 (京都大学教授) / 著

A 5判上製箱入, 548 ページ
定価 6,804 円 (本体 6,300 円) ISBN 978-4-641-01797-9

憲法をめぐる最新の議論を踏まえた注釈書。
条文の成り立ちから最新の学説・判例の動向に至るまでを、各条に即して詳述する。
本巻は、全4巻中の第1回配本として、国民の権利及び義務に関する
日本国憲法第3章の前半 (第10条から第24条まで) を収録。



新注釈民法 (15) 債権 8 -- 事務管理・不当利得・不法行為 1

窪田充見 (神戸大学教授) / 編集
大村敦志 (東京大学教授), 道垣内弘人 (東京大学教授),
山本敬三 (京都大学教授) / 編集代表

A 5判上製箱入, 984 ページ
定価 10,800 円 (本体 10,000 円) ISBN 978-4-641-01751-1

判例・学説の現在の到達点を示す、本格的コンメンタール『新注釈民法』全20巻の第1回配本。
本巻は、第3編債権「第3章 事務管理」「第4章 不当利得」
および「第5章 不法行為」中一般不法行為を扱う。信頼と伝統を受け継いだ、新時代のコンメンタール。



注釈刑法 第2巻 -- 各論 (1) 77条~198条

西田典之 (元東京大学教授), 山口 厚 (早稲田大学教授),
佐伯仁志 (東京大学教授) / 編集

A 5判上製箱入, 892 ページ
定価 10,800 円 (本体 10,000 円) ISBN 978-4-641-01782-5

団藤重光責任編集『注釈刑法』全6巻に連なる、新注釈刑法3分冊の第2弾。
第2巻では、刑法第2編「罪」の前半部分、77条から198条までを扱う。
多くの裁判例を通して実務を分析するとともに、学説の現況を明らかにする。研究者、実務家必携の1冊。

注釈民事訴訟法 第5巻

-- 上訴・再審・手形小切手訴訟・少額訴訟・督促手続・執行停止
281条~405条

高田裕成 (東京大学教授), 三木浩一 (慶應義塾大学教授),
山本克己 (京都大学教授), 山本和彦 (一橋大学教授) / 編集

A 5判上製箱入, 914 ページ
定価 9,720 円 (本体 9,000 円) ISBN 978-4-641-01795-5

本格的コンメンタール『注釈民事訴訟法』全5巻、第1回配本。
本巻は、第3編「上訴」以降を扱う。
旧法下での『注釈民事訴訟法 (1) ~ (9)』の伝統を受け継ぎつつ、
学説・判例の到達した理論水準を踏まえ、実務を視野に入れた、
新時代のコンメンタール。



旅券法逐条解説

旅券法研究会 / 編著

A 5判上製カバー付, 368 ページ
定価 4,536 円 (本体 4,200 円) ISBN 978-4-641-01838-9

国民の4人に1人が持つ旅券 (パスポート)。その発給・管理の根拠となる旅券法。
国民の利便性向上とわが国旅券の信頼性確保とをいかにして両立するのか、
旅券の歴史や旅券法の沿革にふれつつ、現行旅券法について詳しく解説。実務の指針となる1冊。



憲法 行政法

テキストとしての判決 --「近代」と「憲法」を読み解く

駒村 圭吾 (慶應義塾大学教授) / 編著

A 5 判上製カバー付, 338 ページ
定価 5,940 円 (本体 5,500 円) ISBN 978-4-641-13191-0

判決に残された「近代的なるもの」の痕跡を読み解く,
9人の研究者による挑戦的な論文集。
判例を法テキストのみならず思想テキストとして扱い、
時代と事案を振り返って日本法思想に肉薄する。
今後の判例研究・判例学習に資する、新たな判例読解の手法を示す力作。



現代人権論の起点 (上智大学法学叢書 35)

矢島基美 (上智大学教授) / 著

A 5 判上製カバー付, 318 ページ
定価 5,184 円 (本体 4,800 円) ISBN 978-4-641-13159-0

30年を超える著者の憲法研究を通じて公表された論稿を中心に一卷の論文集として編まれたもの。
幸福追求権、信教の自由および経済的自由の3つの領域における論争点について、
学説の検討および判例法理の解説という切り口から論じた論文が収録されている。



行政不服審査機関の研究

碓井光明 (明治大学教授) / 著

A 5 判上製カバー付, 456 ページ
定価 9,504 円 (本体 8,800 円) ISBN 978-4-641-22700-2

行政不服審査制度の総論と、制度の主体である審査機関につき、比較法的視点をまじえながら論じる。
新行審法が施行された現在、制度の本質・個別紛争類型における不服審査制度の役割を明らかにする本書は、
研究者・行政紛争解決実務に携わる実務家必読。



国際行政法の存立基盤

山本草二 (元東北大学名誉教授) / 著
兼原敦子 (上智大学教授), 森田章夫 (法政大学教授) / 編

A 5 判上製カバー付, 734 ページ
定価 12,960 円 (本体 12,000 円) ISBN 978-4-641-04677-1

著者が遺した多くの論稿の中から、今後の国際法学を研究していく上で重要な 19 篇を厳選して 1 冊に。
次代の国際法研究を担う研究者だけに留まらず、
国際関係に関する法的側面からの理解を深めたいすべての人に必読の書。



裁判と法律学 --「最高裁回想録」補遺

藤田宙靖 (東北大学名誉教授・元最高裁判所判事) / 著

四六判上製カバー付, 354 ページ
定価 3,564 円 (本体 3,300 円) ISBN 978-4-641-12581-0

前著『最高裁回想録——学者判事の七年半』から 4 年。
裁判とは何か、裁判実務にとっての法解釈学の意義について、さらに考察を深め、その本質を見極める。
法学教室誌上での蟻川恒正教授・中川丈久教授との対談「藤田宙靖先生と最高裁判所」を収録。

民法 信託法

中途解除と契約の内容規制

丸山絵美子(名古屋大学教授)／著

A 5判上製カバー付, 506 ページ
定価 8,316 円(本体 7,700 円) ISBN 978-4-641-13725-7

長期契約とくに継続的消費者契約に関する紛争の原因としては、中途解除をめぐるものが多い。このような紛争の解決に資する基礎的な研究として、民事法における中途解除規範や中途解除にかかわる契約の内容規制について検討する。



非典型担保法の課題 -- 現代民法研究 II

道垣内弘人(東京大学教授)／著

A 5判上製カバー付, 350 ページ
定価 6,048 円(本体 5,600 円) ISBN 978-4-641-13716-5

『典型担保法の諸相』に続く現代民法研究 II。譲渡担保、ファイナンス・リース等に関する論稿を集成。妥当な問題解決に向けた一貫した論理を解明し、実務に安定した基礎を与える。



消費者契約の 経済分析

西内康人

消費者契約の経済分析

西内康人(京都大学准教授)／著

A 5判上製カバー付, 334 ページ
定価 5,724 円(本体 5,300 円) ISBN 978-4-641-13728-8

消費者を典型とした弱者の法的保護に関する議論は、介入による将来への影響可能性を意識する重要性に比べて、明確に議論されていない。ここに着目して経済的・法的分析を行った全面書き下ろしのモノグラフィイー。アメリカ法を中心としながら紹介・考察する。



民法学を語る

大村敦志(東京大学教授), 小粥太郎(一橋大学教授)／著

四六判並製カバー付, 254 ページ
定価 2,592 円(本体 2,400 円) ISBN 978-4-641-13724-0

民法学とは何か、何をしようとしているのか—
民法学の意義・役割が見出しがなくなっている現在、平成の歩みとともに研究を進めてきた二人の学者が、四半世紀にわたる日本の民法学の展開と将来展望を、自身の研究を素材に、書簡を往復して縦横に語りあう。

民法論集

第十巻
星野英一著

民法論集 第十巻

星野英一(元東京大学教授)／著

A 5判上製箱入, 598 ページ
定価 12,960 円(本体 12,000 円) ISBN 978-4-641-13683-0

民法論集第九巻以降のご講演・ご論稿を収録。先生が中国・韓国との学術交流に力を注いでおられた頃であり、また司法制度改革のスタート、日本民法典施行 100 年・フランス民法典 200 年という節目を迎えた時期である。いま改めて慧眼に触れる。

一巻～九巻は
オンデマンドで
販売中です



民法読解 親族編

大村敦志(東京大学教授)／著

A 5判上製カバー付, 590 ページ
定価 7,560 円 (本体 7,000 円) ISBN 978-4-641-13707-3

旧民法, 明治民法, 現行民法と変遷した民法親族編。
民法典の条文そのもの, 起草者たちの議論, 立法資料,
当時の学説等を読み解くことから出発し,
家族の起源, すなわち制度の趣旨を探る。
立法当時の議論から見えてくるものは?
そして新しい民法へ—

総則編も
あります

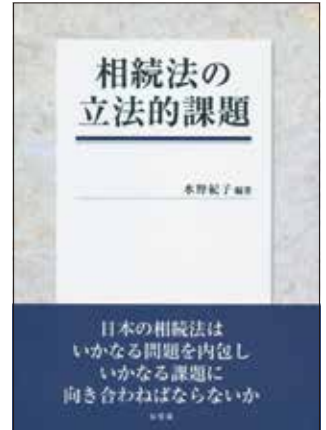


相続法の立法的課題

水野紀子(東北大学教授)／編著

A 5判上製カバー付, 318 ページ
定価 3,996 円 (本体 3,700 円) ISBN 978-4-641-13733-2

社会情勢の変化を受け, また平成 25 年の最高裁判決および法改正を契機として,
相続法制の見直しへ向けた検討が進む。立法的課題, また, 現在の理論・実務の到達点はどこにあるのか。
法制審議会民法(相続関係)部会委員・幹事も含む執筆陣による研究成果。



フランス法における返還請求の諸法理 -- 原状回復と不当利得

齋藤哲志(東京大学准教授)／著

A 5判上製カバー付, 580 ページ
定価 9,720 円 (本体 9,000 円) ISBN 978-4-641-04818-8

本書は, フランス法上の原状回復と不当利得について, その生成過程を検証し,
その論理構造を分析することによって, ドイツ法や日本法とは異なる独自性を今なお強く残している
フランス不当利得法の特徴を明らかにすることを試みるものである。



信託法実務判例研究

新井 誠(中央大学教授)／編集代表

A 5判並製カバー付, 468 ページ
定価 4,104 円 (本体 3,800 円) ISBN 978-4-641-13690-8

きわめて複雑な事案について, 旧信託法と現信託法とのバランスをとりながら進化していく
近年の信託判例 40 件を体系的に収録。
裁判所・弁護士・司法書士・信託銀行の垣根をこえて広がる
信託判例の射程を示し, 信託法の理解を深める 1 冊。

信託法セミナー 3 -- 受益者等・委託者

能見善久(学習院大学教授), 道垣内弘人(東京大学教授)／編

A 5判並製カバー付, 292 ページ
定価 4,320 円 (本体 4,000 円) ISBN 978-4-641-13700-4

ジュリスト連載「信託法セミナー」の第 3 弾。主に受益者と委託者に関する部分を取り扱う。
第 1 巻・第 2 巻に続き, 第一線で活躍する研究者と実務家が, 座談会形式でハイレベルな議論を展開。
ジュリストの連載には掲載されていない, 新規収録のみで構成。



会社法

商事法の研究

山下友信 (東京大学教授) / 著

A 5 判上製カバー付, 428 ページ
定価 7,344 円 (本体 6,800 円) ISBN 978-4-641-13699-1

長期会社法, 金融商品取引法, 約款・不当条項規制, 運送法に関する論文 16 編を収録。これまでのわが国における会社法およびその研究の発展・変貌の経過を知るために、また今後の会社法の在り方を考察するために必須となる一冊。



株主と会社役員をめぐる法的課題

近藤光男 (関西学院大学教授, 神戸大学名誉教授) / 著

A 5 判上製カバー付, 440 ページ
定価 9,180 円 (本体 8,500 円) ISBN 978-4-641-13748-6

前著『コーポレート・ガバナンスと経営者責任』に続く論文集。
著者が長年にわたり主要な研究領域としてきた株主および会社役員に関する近時の論考、これらを内容とする日米の判例研究を一書にまとめる。
法改正にかかる内容には、論攷末尾の「追記」で応接した。



会社法の継受と収斂

高橋英治 著

会社法の継受と収斂 (大阪市立大学法学叢書 63)

高橋英治 (大阪市立大学教授) / 著

A 5 判上製カバー付, 444 ページ
定価 9,180 円 (本体 8,500 円) ISBN 978-4-641-13739-4

会社法の「継受」と「収斂」に関する問題を扱った論文を集め、最新の法令や文献に対応し、全面的に書き改めた論文集。
外国法、とりわけドイツ法との比較検討に重点をおき、今、日本の会社法が米国化しつつある状況に警鐘を鳴らし、今後の日本のあるべき会社法の姿を提唱する。



M & A 法大系

森・濱田松本法律事務所 / 編

A 5 判上製カバー付, 1092 ページ
定価 10,260 円 (本体 9,500 円) ISBN 978-4-641-13698-4

M & A 実務の最先端にいる弁護士陣による体系書。
日々大きく進展する M & A につき、学説・判例を踏まえた理論と、蓄積された実務を鮮やかにリンクさせ、詳細に記述する。
会社法・金商法を中心に、税法や競争法・労働法に関わる論点、業種別の留意事項にも言及する、必携の書。

M & A の法制度を使う人、
作る人、研究する人、
すべてに送る一冊



企業金融と会社法・資本市場規制

久保田安彦 (慶應義塾大学教授) / 著

A 5 判上製カバー付, 342 ページ
定価 6,480 円 (本体 6,000 円) ISBN 978-4-641-13710-3

第 1 部では会社法上の企業金融規制について、近年の改正をめぐる基本的な考え方の変化や社会的経済的背景を明らかにし、第 2 部では基礎的考察として、会社法上の株式発行規制と社債規制の存在意義・特徴を分析する。第 3 部では重要な各論的問題について検討する。



日本の公開買付け -- 制度と実証

田中 亘 (東京大学教授), 森・濱田松本法律事務所 / 編

A 5 判上製カバー付, 438 ページ
定価 8,208 円 (本体 7,600 円) ISBN 978-4-641-13758-5

2006 年～ 2013 年に行われた 487 件の公開買付け事例のデータに基づき, 包括的な実証分析を行い, それを踏まえて解釈論や立法論を展開。
法学者・経済学者・弁護士が, 公開買付けの実態および法制度について多面的な分析をし, 望ましい公開買付け法制を探究する。

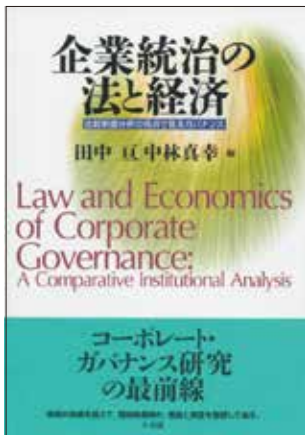


数理法務のすすめ

草野耕一 (弁護士, 西村あさひ法律事務所代表) / 著

A 5 判上製カバー付, 346 ページ
定価 4,104 円 (本体 3,800 円) ISBN 978-4-641-12588-9

「法の行動分析」「法の統計分析」「法の財務分析」の実務上有用性が高いテーマについて, 数学的議論を厳密に行いつつも, 具体的な事例を用いて解説することで読みやすさ, わかりやすさとの両立を実現。
数理法務の実践力が身につく, 法律家としての技量を高める 1 冊。



企業統治の法と経済

-- 比較制度分析の視点で見るガバナンス

田中 亘 (東京大学准教授), 中林真幸 (東京大学教授) / 編

A 5 判並製カバー付, 416 ページ
定価 4,104 円 (本体 3,800 円) ISBN 978-4-641-16454-3

当事者が事前に互いの完全な情報を得て契約を交わすことは難しい。
その現実の下, 企業を取り巻く利害関係者のより良い厚生を達成するための仕組みを
本書では企業統治と捉える。精鋭執筆陣が, 学問の垣根を超えて, 日本の経験, 理論と実証を駆使して迫る。

民事 訴訟法

民事訴訟法の現代的課題

-- 民事手続法研究 I

山本和彦 (一橋大学教授) / 著

A 5 判上製カバー付, 590 ページ
定価 11,880 円 (本体 11,000 円) ISBN 978-4-641-13726-4

現行民事訴訟法の制定・施行から約 20 年。
この間の重要な改正に関与しながら、また、その運用を見守りながら、
その課題について深く考察し、解明。
原論公表後の法令改正や新判例、また、議論動向を補筆した。
実務にも有益なアクチュアルな研究書。



民事訴訟における争点形成 (上智大学法学叢書 37)

安西明子 (上智大学教授) / 著

A 5 判上製カバー付, 354 ページ 定価 5,832 円 (本体 5,400 円) ISBN 978-4-641-13732-5

訴訟当事者の対等な主張立証の機会を確保し、
そのプロセスをできるだけ公正かつ透明に、
当事者にとって使いやすく仕組むために民事訴訟はいかにあるべきか。
宗教団体紛争判例や文書提出命令判例などに現れた
多様な場面を通じて深く分析する。



民事手続原則の限界

長谷部由起子 (学習院大学教授) / 著

A 5 判上製カバー付, 356 ページ
定価 5,832 円 (本体 5,400 円) ISBN 978-4-641-13730-1

当事者にとって重要な文書はどの範囲で提出義務が課されるのか、秘密保護との関係をどのように考えるか、
本案訴訟と民事保全の関係をどうとらえるか、また、集団訴訟をめぐる課題など、
これらの現代的なテーマを通して民事手続のあり方を探究する。

民事裁判過程論

土屋文昭 (東京大学教授) / 著

四六判上製カバー付, 274 ページ
定価 2,484 円 (本体 2,300 円) ISBN 978-4-641-13702-8

社会に生起するさまざまな民事紛争を解決するに当たり、
裁判官がたどる判断過程はどのようなものなのか、
また国民の信頼に応える民事裁判の実践にとって必要な判断要素は何か。
民事裁判官のあるべき判断構造を明らかにする、裁判関係者必読の 1 冊!

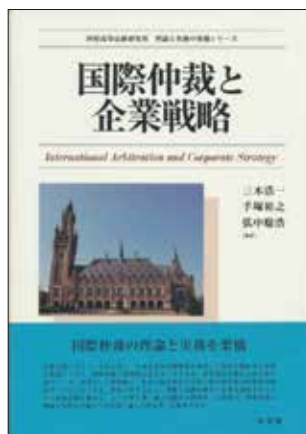


家事事件手続法 -- 理論・解釈・運用

高田裕成 (東京大学教授) / 編著

A 5 判並製カバー付, 454 ページ 定価 3,888 円 (本体 3,600 円) ISBN 978-4-641-13703-5

論究ジュリスト誌上で、研究者・実務家双方より好評を博した研究会を単行本化。
家事事件手続法の制定過程における議論を下敷きに、理論的・実務的な視角から検討を加え、
その理念と残された課題、運用にあたっての指針を示す。



国際仲裁と企業戦略

三木浩一 (慶應義塾大学教授), 手塚裕之 (弁護士、西村あさひ法律事務所),
弘中聡浩 (弁護士、西村あさひ法律事務所) / 編著

A 5 判上製カバー付, 546 ページ 定価 8,532 円 (本体 7,900 円) ISBN 978-4-641-04670-2

企業にとっては本来望ましくない紛争という事態を前にして、
いかにして効率的に紛争解決を行うかが企業戦略上極めて重要な意味をもつという問題意識を踏まえ、
第一線で活躍する研究者・実務家が、国際仲裁の理論と実際に関する現状を紹介する研究書・実務書。